

ふれまち神出通信

「地域を豊かに育む力」

神出町自治協議会

会長 田中 敏憲

ご挨拶の冒頭に、平素からの自治会諸活動に対するご理解とご支援に心よりお礼を申し上げます。

二十五年一月の神出町自治協議会に於いて、二十五年年度に向かつての執行部役員の変更があり、

- 会長 田中 敏憲(北)
- 副会長 岩井 正(上北古)
- 副会長 前沢 芳信(南上)
- 会計 胸永 捷之(山西)
- 幹事 西馬 良一(吉井)
- 監査 久戸 貢(勝成)
- 監査 中島 勝行(池田)

以上のように決まり、四月の総会から新体制がスタートしました。

神出町には、多くの団体があり、それぞれが特色ある活動を展開され、多くの行事・イベントが実施されています。

行事・イベントは、地域住民が集まる場を提供してくれますが、接待する側としては大変で、廃止論が時として出されたりもしますが、老若男女多くの人々を結びつけ、コミュニティの活力を維持する機能が行事・イベントの持つ大きな力であると私は考えます。

一昨年、神戸市長と神出ふれあいのまちづくり協議会の間で締結したパートナーシップ

協定も、二年が経過し、少しずつですが、神出が美しい自然とともに発展する姿が見え始めています。各種の取り組みの詳細は、各部会長の報告をご覧下さい。これからも地域の皆様、関係行政機関のお力を頂きながら、継続して参りたいと考えています。

神出町自治協議会でも、種々の催しを、今年も推進してまいります。その催しを通じ、老若男女、沢山の住民参加の機会があることで互いの顔が見える素晴らしい地域コミュニティが築かれることを信じています。

国道一七五号神出バイパスも神出北から小東野の間が三月十六日に暫定二車線での開通(写真)となりましたが、田井から北古口、さらには平野までの早期全面供用に向けて各方面への要望を行なうて参らなければなりません。

また、農道の神戸市移管問題、広い神出町内では、若干の温度差はありますが、交通の便が大きな問題となっております。高齢者や子どもも見守り、災害時における災害弱者を一人も見逃さない運動等、課題を上げれば枚挙にいとまがありません。多くの年来的課題の解決に向けての道を探り、皆さんのお力をお借りしながら、任期を努めたいと思っております。文末になりましたが、自治会活動を多方面で支えていただいている各集落の自治会長、自治会役員、神出町各種団体役員の皆様に感謝申し上げますと共に、今後の

ふれまち神出通信発行団体

神出ふれあいのまちづくり協議会

西区神出町田井三四―二

地域福祉センター

編集責任者 田中 敏和

編集者 西馬 義和

取り組みに対し、皆様の心からの応援をお願いいたします。

目次項

- 自治協議会役員決まる 1
- 神出の安全安心 2
- ふれあい三世代ゴルフ 3
- かたこ会・子供会 4
- 小学校・中学校 5
- バイパス・その他 6

国道175号線神出バイパス開通式典(神出北～小東野)



★今後の自治協議会関係行事一覧

- 五月十七日(金)神出町各種団体長会議
- 六月十六日(日)神出町演芸大会(かたこ会共催)
- 七月二十七日(土)神出町夏まつり
- 七月二十七日(土)神出町一斉クリーン作戦(パートナーシップ推進会議安全・安心推進部会主催)
- 十月 神出町運動会(体育委員会にて調整)
- 十一月十七日(日)神出の里ウオーク
- 自治懇、防災訓練、その他、各種行事は今後調整予定

「にぎわいは 持続可能社会を創造する」

パートナーシップ

にぎわい創出部会長 岩井 正

日本経済も一九九〇年のバブル崩壊と共に陰りが見え始めてはや二十年になります。大きなうねりが押し寄せ価値観も多様化してきました。

農業を主体の生活基盤は「生活と仕事場」が一体となっていたことから、地域で助け合いながら生活をしていました。仕事を都市に求めた結果「生活と仕事場が異なり」顔を合わせない機会が少なくなり、顔を遠く離れた職場では、神出を離れざるを得ない人が多くなりなりました。

生活環境の変化や価値観の多様化が少子化を招き地域崩壊が起きている。昔から、人の行き来が家を栄えさせる。

つまり人の行き来が途絶えたところには繁栄は求められないすべし。人の行き来は地域や家に魅力があるからである。

人が魅力を感じる「おいしいもの、楽しいこと、美しいもの」や歴史や文化に彩られた祭事などに「にぎわいあふれる町が持続可能な社会を造る。」との思いからパートナーシップ協定を契機に「元気でにぎわいのある水と緑のまち・里づくり」を取り組みました。

にぎわい創出部会では「活力あふれる水と緑とやすらぎのまち神出」のキャッチフレーズのもと、桜の植樹、神出楽団、花畑プロジェクト、神出町魅力マップ、水辺環境の魅力向上をめざし、和合成池周辺の散策路整備を進め3年目を迎えました。

今年には和合成池周辺散策路に七夕飾りつくり子供たちの夢を叶えたいと思っています。毎日忙しく過ごす現代社会は家族団欒、地域とのつながりが持てなくなるなど改めて地域コミュニティの大切さを感じています。

今はもう死語に近くなってしまう「いづくしむ」感謝「優しさ」など美しい心を育てた文化を一緒に見直して見ませんか？
皆様と一緒に神出が「元気でにぎわいのある水と緑のまち」の実現に向けてご協力よろしくお願ひいたします。

「二十五年目を迎えて」

パートナーシップ

安全・安心推進部会
部会長 穴田 泰久

何時も、お世話になっております。安全安心推進部会の穴田と申します。本年度、市長とのパートナーシップ協定の最終年度であります。

今年、七月二十八日を神出町一斉クリーン作戦の、実行日と考えています。「神出町を美しく」は、我々部会での取り組みです。

各自治会皆様方のご理解、ご協力でのご参加をお願い申し上げます。

又、「子供、高齢者の安全・安心向上」での取り組みでは、小中PTA保護者の皆様方、各自治会様のご協力での危険箇所マップの仮作成を致しました。

このマップを、ベースとしてわかりやすく見やすい危険箇所マップを仕上げたいと考えております。

安全安心ベストを追加作成致しましたので、各自治会、各種団体及びPTAの皆様方にご使用して頂きたく配布致しました。

最後に、子供見守り隊と致しまして、安全の面で、横断旗を製作中です。又、「案内致しますので、本数を後程お知らせ下さい。」

少しでも住みやすい環境作りにと考えておりますが、何より皆様方のご理解とご協力を、無くしては出来ません。宜しくお願ひ申し上げます。私のご挨拶とさせていただきます。

「神出町の安全・安心を目指して」

消防団活動

西消防団神出支団
支団長 穴田泰久

四月十三日、阪神淡路大震災の再来かと驚いた、淡路島を震源とする震度六弱の地震が発生した。

現在、京都や大阪を震源とする直下型地震が活動期に入っているといわれており、また、静岡県沖から四国・九州沖にかけて伸びる浅い南海トラフを震源とする「東海」「東南海」「南海」の三連動地震の発生が危惧されている。

四月二十六日、西神オリエンタルホテルで、久本副市長、嶋消防局長、竹田西消防署長、中川西区長、清貞連絡所長、西区自治会会長、田中神出町自治協議会会長、井上西婦人会長等のご臨席をいただき、「西消防団三十周年記念式典」が開催された。

ご来賓のご挨拶にも、この地震が話題になり、改めて、神出支団への期待の大きさを感じた。先の阪神淡路大震災では、神出町の被害は比較的軽微で、堤防が損傷したため池もあつたが幸い水位が低く大事に至らなかつた。

団長の指揮で西消防団の一員として、西代での夜を徹しての消火活動を行い、地震時消防団の活動が見えないとの批判もあつたが、消防団の活動が認知されるきっかけとなつた。



第7回 防人賞表彰式 平成25年4月26日(金) 西神オリエンタルホテル

受賞者を囲んで



防人賞を受賞した
佐伯副支団長

祝賀会に先立ち、佐伯副支団長が、「防人賞」を受賞した。これは、西区民の安心で安全な暮らしを守るため、長年にわたり防災活動に従事し、特に功績の著しい消防団員に対し、西区長から、感謝を込めて、その功績をたたえるために贈られるもので、佐伯副支団から、これも元木村支団長からの歴代の支団長・神出支団、西消防団、西消防署の皆様のおかげですとのお礼の挨拶があった。

春休みの三月三十日(土)、十年以上ぶりにふれあい三世代ランドゴルフ大会を神出町公園に於いて開催しました。競技方法、審判を神出かたこ会役員の指導と協力を受け、青少協、民児協、ふれまち協で実施しました。地区別に二組(親・子・孫の各世代)の参加者を募集したところ、参加者なし四地区、一地区は一組の参加と思ったより少子化現象がくつきり表れました。お爺ちゃん・おばあちゃんの親世代は得意のランドゴルフで日ごろの腕前が披露できると参加者は多数おられました。子・孫世代は多忙と少子化で子供が少なくなかなか集まりません。お隣の親子とその隣のおじいさん、おばあさんとで作った即席のランドゴルフファミリーと、一族三世代合せて二十四組の参加がありました。当日、強風もなんのその歓声と笑顔で

南海トラフ地震では、市街地での津波の被害の発生も予想され、西消防団ではその対応方法を検討している。水位が高いため池ではスロッシングによる堤防の破壊も考えられ、神出支団では、神出町での応援、隣接への応援、市街地への応援の三グループでの活動で計画している。消防署、西消防団、神出町自治会等関係団体と協力しながら、神出町の安全・安心を指して活動しく所存である。

「ふれあい三世代
ランドゴルフ大会」
民生児童委員協議会
会長 田中福美



ランドゴルフいっばい。乳幼児を連れのギャラリも声をかけながら選手について回る光景も見受けられました。家族で参加者からは、子供・孫が祖父母の実力を知り、自分をアピールできて嬉しかったとの声もありました。また、近所にいながら会うこともなく挨拶もしなかったのに楽しい交流の時間を過ごせたと喜びも聞きました。優勝・入賞者には賞品とふれあい喫茶の招待券をお渡ししました。引き続き近所「ふれあい三世代ランドゴルフ大会」として開催できれば、今年度の福祉テーマ「災害時一人も取り残さない」運動の一助になり、隣近所の交流、コミュニケーションを図ることができ、安全で安心なまちづくりのきっかけになるのではと思っています。また、子どもたちは神出町の絆となる大切な存在です。やさしくそして力強く見守りたいものです。



「二十五年総会」

神出かたこ会会長
中嶋璋文

四月五日(金)、総会を北福祉会館で各クラブ三役出席、来賓として、自治協議会田中会長、神出連絡所清貞所長をお迎えし開催しました。

二十四年度事業、収支決算、監査報告、二十五年事業計画、収支予算について審議され、満場一致で承認されて新年度がスタートしました。十二クラブ、約七百五十名の構成です。

早速、春の事業である「かたこの花園」の開園に取り掛かりました。

毎年このことながら、開花時期が変わってくる事と、「ギフ蝶」の羽化とも関係し、いつもお世話になっている神出自然教育園、県立神出学園の両園長さんとの打ち合わせも行いながらになります。

結局四月七日に決め、十八日迄の十二日間の会期としました。

この間、各クラブが受付、案内に当たりました。尚、ギフ蝶の放蝶は八日に行う事になり、神戸新聞社にお願いして放蝶時の写真撮影をしていただき、当日の夕刊に掲載してもらいました。

翌日からはたくさんの方の来園があり神出市内各区からは勿論のこと、東は高槻、西宮、西は姫路、加古川、南は淡路、明石、北は加西、小野と各市から足を運んでいただきました。

期間中は天候にも恵まれ来園は五百人を超えました。

ちなみに地区外の人たちがどれ位かと思いましたが約四百名、又、リピーターの方がたくさんおられました。

それだけ楽しみにしておれたと思うと、来春に向けて手入れをしなければと

思ったところです。
神出かたこ会の会員も後期高齢者の比率が高くなっています。
六十歳代の方々の加入をお待ちしています



神出探検ふれあいウォーク

神出友愛

五月十三日、池田地区のクリーン作戦でゴミ拾いをしながら歩きました。家々の庭の花がきれいでした。

出会った方々に「苦労さま」「暑いから日焼けに気を付けて！」と声をかけてもらい嬉しかったです。

不法投棄禁止の看板や監視カメラもあり全体にきれいでしたが、たばこのポイ捨てが目立つ所があり、夏まつりの「ポイ捨て禁止キャンペーン」をもっと頑張らないと!!ということになりました。

次回は九月十日に新々田を歩きます。

「神出っ子集まれ!」

神出地区子ども会
会長 北谷 剛章

今年度神出地区子ども会会長をさせていただきます北谷剛章です。
一年間よろしくお願ひします。

神出地区子ども会は、現在十一地区の子ども会で結成され、地域の子どもの親睦、交流に務めています。

子どもの減少に伴い、年々神出子ども会から脱会される地区も増えてきています。このような現状ではありますが、地域の子どものふれあいを通して子ども会相互の親睦、交流につながればと思います。

毎年、神出地区子ども会では神出児童館をお借りして、映画観賞会、ビンゴゲーム大会を開催しています。今年度も、六月二十九日(土)に予定しています。

たくさんの子どもたちに参加し、楽しんでもらいたいと思っています。

開催にあたりましては、児童館の方々や小学校、幼稚園の先生方にお世話になると思いますがよろしくお願ひ致します。

「健やかな成長のために」

神出小学校校長

竹森潤児

神出小学校の音楽室は校舎の四階西の端にあります。

その教室の両側の窓からは、広がる神出の田園地帯を遠くまで見渡すことができます。

今日も音楽の時間には、子どもたちの素直な歌声が、神出の地域全体に広がっていくかのように美しく響いています。

私は今年度四月に本校に着任しました。印象的だったのは、子どもたちの元気な挨拶と明るい表情でした。

子どもたちが伸び伸びと育っているのはきっと、地域の方々の願い、夢をいっぱいを受けて育ってきたからに違いありません。

「人間の成長というものは、一個人の中にいかに多くの他人を住まわせるかである」という言葉があります。

子どもは生まれて、母親・父親に出会い、祖父母に出会い、愛情を受けて育ちます。

成長するに連れて、隣人や友達、地域の方々、先生と出会います。そうした人たちと関わりを持つことで、人としてのどのように振る舞うことが正しいのかを学んでいくのです。

「多くの他人を住まわせる」とは人との豊かな出会いを意味しているのでしょうか。

今年も子どもたちの健やかな成長のため、地域の皆様のご理解とご協力をいただけますよう、お願い申し上げます。

「はじめまして」

神戸市立神出小中学校

校長 藤本 明宏

はじめまして。

同じ西区の西神南ニュータウンにある井吹台中学校から参りました藤本と申します。どうぞよろしくお願いたします。

西神南は、まちづくりと同時に幼稚園、小学校、中学校が作られ、昨年ようやく二十周年を迎えた新しい町です。

また、中学校の生徒数は千百名を数え、近畿一のマンモス中学校でした。

ここ神出町は、美しい景観と豊かな自然に恵まれた歴史のある町。

いにしえの昔から登える雄岡、雌岡の双嶺は、町内だけでなく、広く周辺からも眺められる神出の象徴であり、本校の校章にもなっています。

神出中学校は、昭和二十二年（一九四七）四月に開校し、今年創立六十六年目を迎えています。たくさんの方々の諸先輩方の後を受けて、現在、百六十三名の生徒と十六名の教職員が力をあわせて、ともに教育活動に勤しんでおります。

地域の方々の教育の充実、発展のため、皆様方のお力添えをいただきますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

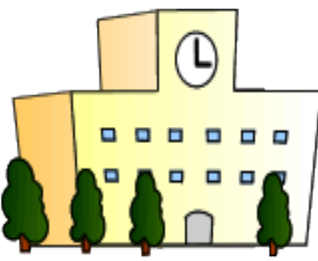
さて、四月に着任したての私は、神出とはどういうところだろうかとさまざま疑問がわいていました。

そんな時、貴重な情報源になったのが、「ふれあい街づくり協議会のホームページ」でした。おかげさまでいろいろなることが分かり、不安を解消することができました。

ありがとうございます。感謝申し上げます。そこで、中学校でも、情報発信に

努めていき、地域の皆さまの何らかのお役に立てればと考えています。

「神出中学校」と検索して、学校のホームページをご覧になっていただければ幸いです。



ふれまち協議会から

□ごみ出しルールの出前トーク開催

ごみ出しルールはご存じだと思いがすが家庭から出る「ゴミ」と「資源」の分け出し方について説明会を開催致します。

ご参加お待ちしております。

日時：七月九日（火）

十三時～十四時

場所：神出地域センター



□みどりのカーテンづくり

ふれあいのまちづくり協議会では、みどりのカーテンづくりに取り組んでいます。

福祉センター前テラスでゴーヤをプランターに植え緑のカーテンを作っています。

室温の上昇を抑え快適で涼しく節電につながればと思っております。

ゴーヤは病害虫にも強く、作りやすくビタミン、ミネラルを多く含んでいます。

皆様もご家庭で作ってみませんか。

緑のカーテン



神出バイパス完成後の交通状況

②旅行速度が大きく向上

並行する国道175号(現道)の平均旅行速度が開通前に比べ約10km/h向上し、走行環境が大幅に改善。



平均旅行速度 9.9km/hアップ↑



平均旅行速度 10.8km/hアップ↑

地域の声

私は神戸方面から通っていますが、神出バイパスが一部供用したことで、信号による渋滞が少なくなり、旧道よりも道幅も広がったことで、快適で安全に走りやすくなりました。(西脇市立西脇病院 理事)

①交通混雑が緩和

国道175号の田井交差点・老ノ口交差点における朝夕の交通混雑が解消。

<田井交差点>
三木方面行 最大渋滞長 【開通前】1,050m ⇒ 【開通後】0m
<老ノ口交差点>
明石方面行 最大渋滞長 【開通前】1,300m ⇒ 【開通後】0m



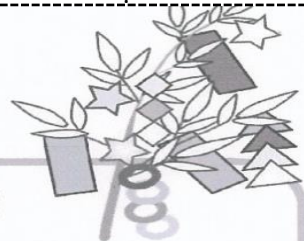
にぎわい創出部会

・昨年度整備に取り組んだ和合成池周辺で、「七夕まつり」を実施します。

日時: 7月7日(日) 午後4時~6時頃

場所: 神出町和合成池

内容: ・約30本の七夕笹飾りが池周辺を彩ります。
・短冊には神出町内や神出を訪れた子ども達の願いが込められています。
・子供から高齢者まで遊べるゲームコーナーもあります。



パートナーシップ推進会議より

安全・安心推進部会

・昨年度多くの地区にご参加いただいた「神出町一斉クリーン作戦」を今年も実施します!

7月28日(日) 午前8時~10時(時間は各地区で決定) ※みなさんの積極的なご参加をお待ちしています!

・部会で作成したベストを活用し、児童の通学時の見守り活動が始まりました。



秋の文化祭に向けて

作品募集のお願い

秋の神出町文化祭が今年三十回を迎えます。そこでより多くの皆さんの作品を展示したいと思っています。

ご協力をよろしくお願ひします。問い合わせは神出連絡所まで

TEL 九六五-1000